

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。  
http://www.pref.tochigi.lg.jp/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

## 「那須地区ふれあい学習ネットワーク」特集

2月2日（土）に那須塩原市三島ホールで「那須地区ふれあい学習ネットワーク」を開催しました。当日は、那須地区各小中学校の教職員やPTA役員を中心に、172名の方々に御参加いただきました。今回は「とびこもう、地域へ！～あなたなら、何ができますか？～」をテーマに事例発表とシンポジウムを行いました。

事例発表では、2組の方に発表をしていただきました。まず、壬生町教育委員会社会教育主事の吉田達也氏に、「『中学生の地域参画』を推進する壬生町の取組」と題して、中学生の地域参画に視点を当て、壬生町が行っている中学生がボランティア参加できる様々な仕掛けについて、紹介していただきました。数々の映像を交えての発表だったので、活動の内容が具体的にわかりました。



吉田達也氏の発表の様子



お囃子太鼓の演奏風景

続いて、龍西松葉流大手囃子保存會囃龍會の岡秀明氏と益子道昭氏に「みんなで地域おこし～地域活動の楽しさを知ろう～祭り囃子を通しての世代間交流」と題して、子どもたちに太鼓指導を行うだけでなく、太鼓を通して地域行事に参加するなど、大人も楽しみながら、子どもと共に地域参画をしている事例を紹介していただきました。

また、開会前には、実際に子どもたちがお囃子太鼓の演奏を行い、会場が華やかな雰囲気となりました。

シンポジウムでは、国際医療福祉大学講師の大石剛史氏をコーディネーターに迎え、事例発表をされた3名がパネリストとなり、「地域参画への第一歩とは何か」「それぞれの立場で、地域参画について考えていること」「実際の地域での活動で心がけていること」などについて、それぞれの御意見を聞きました。

また、シンポジウムの中に情報交換の時間を設け、参加者同士でグループになり、実際に地域で行っていることや今後地域でやってみたいことなどを自由にお話ししていただきました。

地域活動に熱い思いで取り組まれている方々の言葉が参加者の胸に届き、「できることから、地域に飛びこんでみたい。」「子どもたちと一緒に地域活動をする楽しさを味わいたい。」など、地域参画に前向きな御意見や御感想が多数寄せられました。参加者の皆さんが、このネットワークで得たものを、それぞれの立場で実践していただければ幸いです。



地域参画は大切だ  
と思っている方は  
「緑」そうは思わない  
方は「ピンク」を示し  
てください。

コーディネーターの大石剛史氏



聴衆参加型のシンポジウムになるよう、参加者に意思表示をしていただいたり、小グループで話し合いをしていただいたりしました。